

2000年7月31日

報道関係者各位

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ

湘南ケーブルネットワーク
ISP 事業のサービス向上へ ストリーミングメディアキャッシュの導入
～CATV 事業者では、日本初の導入～

記

ネットワーク関連システムの総合的なサービスを提供する株式会社ネットワークバリューコンポネンツ（本社：横須賀市小川町14-1、代表取締役：渡部進、以下略称：NVC）は、神奈川県湘南地区のケーブルテレビ事業会社・湘南ケーブルネットワーク株式会社（本社：神奈川県平塚市宝町3番1号、代表取締役 CEO：松上 茂）の ISP 事業のサービス向上となるストリーミングメディアキャッシング・システム導入を受注しました。ケーブルテレビ事業者としてストリーミングメディアキャッシングを導入するのは、湘南ケーブルネットワークが初めての事例となります。

湘南ケーブルネットワークでは、インターネットユーザーのストリーミング・メディア利用の増加に対応し、ケーブルテレビの利点である大容量通信をさらに高速化することによってインターネット接続環境の向上を図ります。湘南ケーブルネットワークは、今回のストリーミングメディアキャッシング・システムの導入により、高品質の音楽や映像などのコンテンツを高速かつリアルタイムでユーザーに配信することが可能となります。ストリーミングメディアキャッシングを使用したサービスの開始は、8月初旬の予定です。

ストリーミングメディアキャッシングは、現在インターネットで急速に発展している音楽や映像などのストリーミングコンテンツをキャッシュ（蓄積）しておく技術で、インクトゥミ社（Inktomi, Co、アメリカ、カリフォルニア州）の Inktomi (R) Traffic Server (TM) 「Media-IXT」を使用しています。MediaIXT の持つ基本的な機能は、ユーザーからリクエストがあったストリーミングデータ（動画、音楽など）をオリジナルのサーバーに取りに行き、リアルタイムでユーザーに流し、同時にそのストリーミングデータをキャッシュするというものです。その結果、次に同じストリーミングデータのリクエストがあった場合は、キャッシュしているため、わざわざオリジナルのサーバーまでデータを取りに行く必要がありません。その結果、レスポンスタイムを短縮し、ネットワーク上の混雑を大幅に削減できます。

ユーザーのメリットとしては、高速かつ高品質のストリーミングデータをリアルタイムに見ることができるという点が挙げられます。一方、ISP のメリットとしては、コンテンツの重複をなくすことによってネットワーク上の混雑を大幅に削減できるため、帯域幅を増やすことなく、ストリーミングデータをユーザーに提供することができるというものです。その結果、ISP は付加価値サービスを提供することが可能になります。

NVC は、1999年2月、検索エンジンやトラフィック・サーバーを手掛けるインクトゥミ社と日本における代理店契約を結びました。インクトゥミ社のキャッシュ・サーバーはアメリカ・オンライン（AOL）なども顧客としており、高い技術が既に証明されています。

NVC NETWORK VALUE COMPONENTS

NVCでは、ストリーミング・メディアなど大容量のインターネット通信が増加しつつある現状に着眼しました。ISP事業者やデータ・センター、コンテンツ・プロバイダーに対し、トラフィック・サーバーを活用したウェブ・ソリューションを提案しています。今回の受注は、NVCのウェブ・ソリューション事業進出への初めてのケースとなります。今後、他のISP事業者、ケーブルテレビ事業者などへも積極的に導入を呼びかけていく方針です。

【Inktomi社について】

Inktomi社は1996年2月に設立された米国の会社で、インターネット・サービスプロバイダー（ISP）、コンテンツ配信およびホスティング・プロバイダー、Webポータルや商取引サイト、ワイヤレス事業者、また、グローバル企業向けに、インフラ・ソフトウェアを開発、販売しています。

以 上